

「実需給 2 年度前の容量停止計画の調整業務」
の結果について
＜対象実需給年度：2025年度＞

2024年1月18日

容量市場の在り方等に関する検討会事務局※

1.はじめに

2.容量停止計画の調整の結果について

- (1) 調整終了後の結果概要
- (2) 調整期間中の各電源による調整状況（推移）
- (3) 調整期間中のトピックス

3.まとめ

参考.容量停止計画の調整業務期間中の公表情報

参考.容量停止計画の調整業務の概要（昨年度からの変更点）

- (1) 調整期間スケジュール、公表スケジュール変更
- (2) 調整不調電源の判断基準統一
- (3) 支援ツールの提供

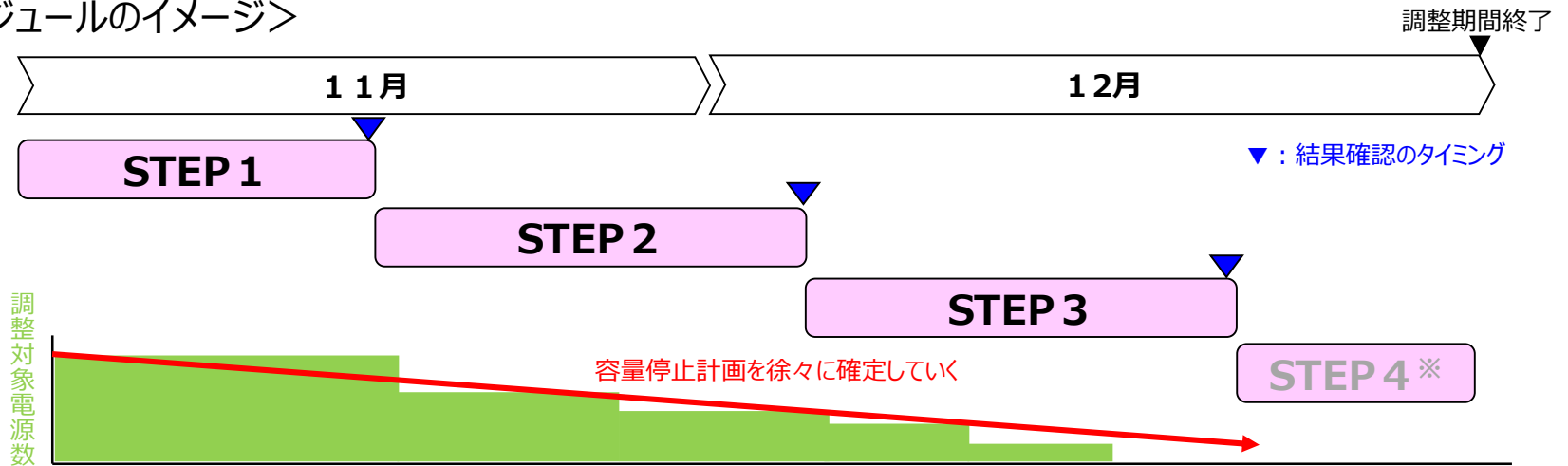
- **「容量停止計画の調整業務」**は、定期補修等で電源が出力停止または抑制する時期について、実需給期間に必要な供給力を確保するため、**実需給年度の2年度前に調整**することとしている。
- 今回の調整業務の対象は、2021年度メインオークション（対象実需給年度2025年度）により容量確保契約を締結した安定電源と変動電源（単独）となる。
- 2021年度メインオークション（対象実需給年度2025年度）で約定した電源を対象として、2023年7月～2023年12月に、実需給2年度前の「容量停止計画の調整業務」が実施された。
- 本日は、今回実施された**容量停止計画の調整業務の結果**について報告する。

参考. 容量停止計画の調整業務の概要

調整スケジュールについて

- 全ての容量提供事業者が同時に調整を行うことを円滑に進めるために、調整期間内にSTEPを設け、STEP毎に変更可能な条件を設定することで、段階的に容量停止計画の調整・確定が行われ、早い段階で調整するインセンティブを設けながら収束させていく方法で調整業務を実施した。

<調整スケジュールのイメージ>



	条件
STEP1	全電源が自由に計画変更可能
STEP2	供給信頼度に影響を与える月への計画変更は不可
STEP3	調整不調月の電源以外は、計画変更不可 (ただし、STEP2と同様の制約あり)
STEP4※	供給信頼度に影響がある場合のみ個別調整

※供給信頼度に影響を与える状況が解消される見込みがない場合に限り実施

2. 容量停止計画の調整結果概要について

(1) 調整終了後の結果概要

- **STEP1の開始時点**のEUEは信頼度に影響を与える**基準を超過**していた。
- STEP1～4のそれぞれの期間において、**各月の供給信頼度の変化状況を確認**しながら、容量提供者により各電源の**定期補修時期等が調整**された。
- **STEP3終了時点で供給信頼度に影響を与える基準の超過が解消されない状況**であったため、**STEP4として特定のエリアを対象に個別調整を実施**した。
- その結果、**STEP4の終了時にすべての月**において確保すべき必要な供給力に対して計画停止量を考慮した**供給力が充足**された。

<供給信頼度算定結果の情報提供のイメージ（赤枠・青枠を説明で追記）>

月	EUE基準値(kWh/kW・月)		EUE (kWh/kW・月)	作業可能量 (MW)		作業 停止量 (MW)
	①追加設備利用	②信頼度影響		①追加設備利用	②信頼度影響	
4月	0.000891	0.001933	0.000073	50,848	52,493	39,328
5月	0.001294	0.002408	0.000050	58,348	59,958	43,772
6月	0.001370	0.003478	0.000196	45,377	377	43,772
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
3月	0.000617	0.001515	0.000752	31,339	33,246	17,228

基準となる
供給信頼度

供給信頼度
で確認

作業可能な量

停止量が
収まっている
か確認

2. 容量停止計画の調整結果概要について

(参考) 調整終了後の結果

- STEP4終了時にすべての月においてEUEは供給信頼度に影響を与える基準を満たしている。

※月平均で充足していても月内で停止が偏っている場合、日単位ではひっ迫が発生する可能性があるため、実需給に向けては日単位の調整が別途必要。

<供給信頼度算定結果>

すべての月で必要な供給力の充足

	EUE基準値 (kWh/kW・月)		STEP1開始時	STEP4終了時
	①追加設備利用	②信頼度影響	EUE (kWh/kW・月)	EUE (kWh/kW・月)
4月	0.000891	0.001933	0.00152	0.000090
5月	0.001294	0.002408	0.00229	0.000046
6月	0.001370	0.003478	0.00000	0.000001
7月	0.000123	0.000353	0.00003	0.000017
8月	0.000795	0.001846	0.00039	0.000128
9月	0.000585	0.001295	0.00039	0.000402
10月	0.000827	0.001604	0.00167	0.000426
11月	0.000796	0.001861	0.00909	0.001242
12月	0.000033	0.000086	0.00029	0.000025
1月	0.000253	0.000590	0.00106	0.000466
2月	0.000059	0.000144	0.00093	0.000089
3月	0.000617	0.001515	0.00083	0.000747

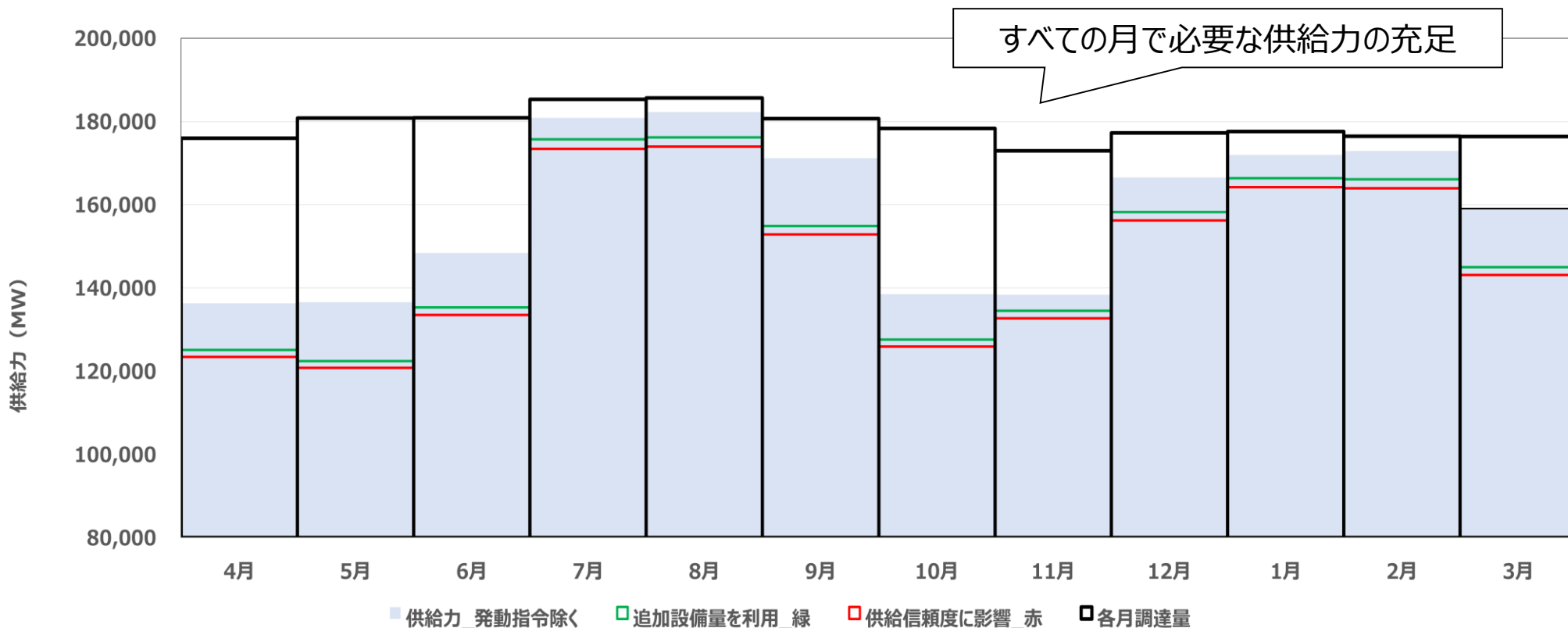
緑塗箇所：追加設備量を利用する基準を超過している箇所（EUE基準）、赤塗箇所：供給信頼度に影響を与える基準を超過している箇所（EUE基準）
EUE：月間の供給信頼度(EUE)の値

2. 容量停止計画の調整結果概要について

(参考) 調整終了後の結果 (作業停止量)

- 今回の調整終了後の結果は、**作業停止量を考慮した供給力が、すべての月で供給信頼度に影響を与える基準を満たしている。**

<月別作業可能量と作業停止量の関係>

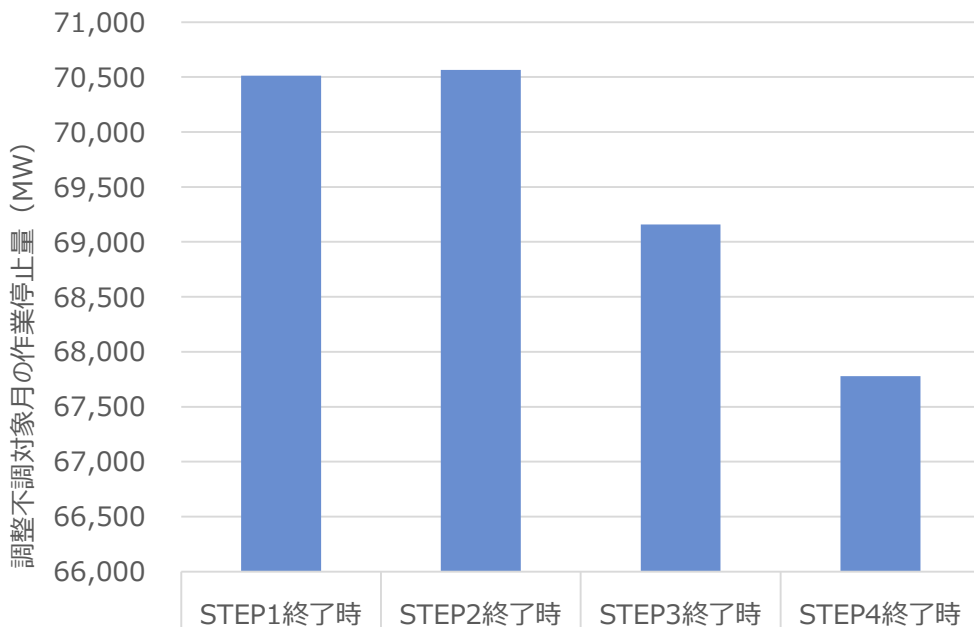


2. 容量停止計画の調整結果概要について

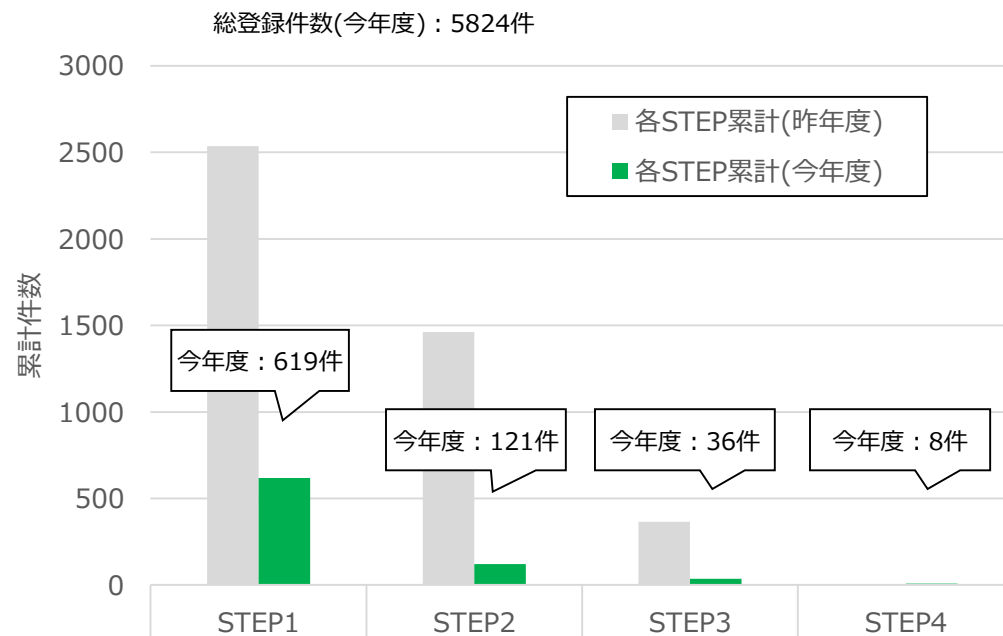
(2) 調整期間中の各電源による調整状況（推移）

- 調整不調対象月の作業停止量の推移としては、STEP1、STEP2終了時点では横ばいであったが、**STEP3、STEP4と進むにつれて作業停止時期の変更・短縮等により作業停止量は減少し、STEP4終了時点で供給信頼度に影響を与える月は解消された。**
- 期間中に調整が実施された変更登録について、**STEPが進むにつれ変更件数が減少した。**昨年度に続き2回目の実施であることや、容量停止計画作成支援ツールの提供等により、昨年度と比較すると**変更登録件数自体も大幅に減少**している。

<調整不調月の作業停止量の推移>



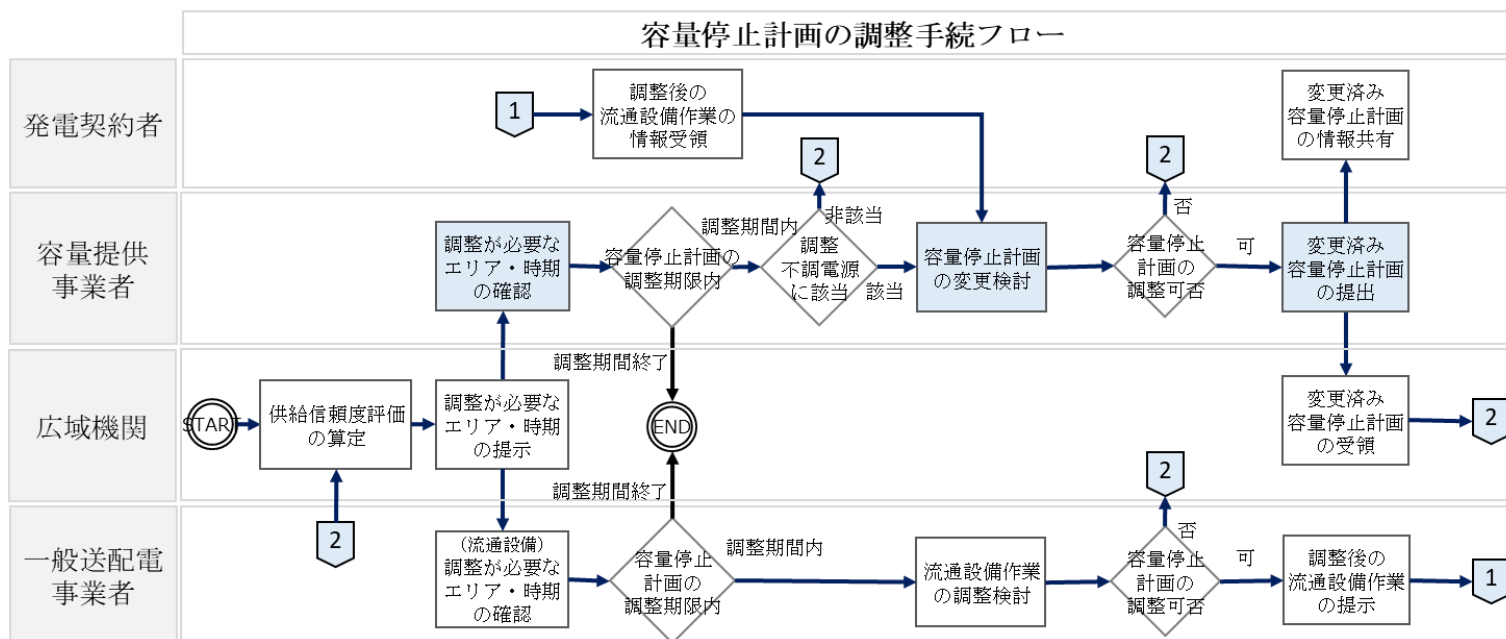
<各期間中の変更登録件数の推移（累計）>



2. 容量停止計画の調整結果概要について

(3) 調整期間中のトピックス

- STEP 1 では**データ登録内容の不備と推察される案件**が一部で確認された。それらの案件について意図した内容のデータとなっているか、**再度確認を行う**ように容量提供事業者へ連絡・修正を依頼。
- 昨年度は実施不要であったSTEP4の個別調整を実施した**。個別調整にあたっては、全国のうち、特に供給力の厳しいエリアを対象を絞り、個別の調整を実施した。
- STEP4の調整に入る前に、作業の要因を把握するために該当する事業者に対して「計画している作業が流通設備作業に起因するものか/発電機単体の事由によるものか」のアンケートを実施した。
- アンケートの結果、流通設備作業に起因する作業も一定数みられたため、**一般送配電事業者の流通設備作業時期についても見直し検討の依頼を実施した**。



- 2021年度メインオークション（対象実需給年度2025年度）で約定した電源を対象として、11月～12月に実需給2年度前の「容量停止計画の調整業務」を実施した。
- STEP1の時点では供給信頼度に影響を与える月が存在していたものの、STEP4の個別調整までを実施し、STEP4終了時にすべての月において供給信頼度が確保された。
- 調整期間中の作業停止量や変更登録件数の推移や、調整業務におけるトピックスを確認しながら各STEPを進めてきたが、各事業者の手続きの認識誤り等の大きな混乱等は無く、調整業務を終了することができた。
- 今後、実需給に向けては日単位の作業停止調整が必要であり、一般送配電事業者と関係者にてそれを効率的に行う検討が進められているため、容量停止計画調整についても必要に応じて見直し等を検討していく。
- なお、調整業務に関して事業者からいただいた質問やご意見等を踏まえ、次年度以降の業務マニュアルや各種公表資料の反映も行っていく。

- ① 「供給信頼度の確保状況」＜営業日毎に公表＞
<https://www.occto.or.jp/archives/489>
- ② 「容量停止計画調整の留意事項」＜2022/11/11公表＞
https://www.occto.or.jp/market-board/market/jitsujukyukanren/chousei/2024/files/20221111_teishikeikaku_point.pdf
- ③ 容量停止計画提出用CSVファイル作成支援ツール
https://www.occto.or.jp/market-board/market/jitsujukyukanren/chousei/2025/files/2025youryoucsv_shientool_r1.zip

（1）調整期間スケジュール、公表スケジュール変更

- 調整期間中の各STEP期間について、昨年度の実施状況を踏まえ変更した。
 - STEP1およびSTEP4の期間を1週間延長
 - STEP2およびSTEP3の期間を1週間短縮

3. 2023年度に実施する容量停止計画の調整業務について

6

①調整ステップのスケジュールの変更

- 「調整期間のステップ1の期間延長、ステップ4の年末時期の回避」など、期間設定のご意見も踏まえつつ、**ステップの期間設定について運用状況を踏まえた変更**を行い、調整を行う期間のうち11月～12月のステップ1～4のスケジュール変更について、現在意見募集を行っている。
- また、供給計画の提出時期を考慮し、**容量停止計画の調整期間（11月～12月）の設定については昨年度どおり**としている。
- ついては、ステップ1と4の期間の変更により、ステップ2と3は1週間ずつ短縮となるが、ステップ2については、昨年度も2週間で実施したことや、ステップ3については変更可能な電源数が絞られている段階であることから、**ステップ1と4の期間延長**を行う形としている。

第47回容量市場の在り方等に関する検討会資料より

		2022年度	意見募集中の案	期間の差
STEP1	全ての電源が時期の変更を可能とする。	11月第1週～11月第2週 (2週間)	11月第1週～11月第3週 (3週間)	+1週間
STEP2	全ての電源が時期の変更を可能とする。 ただし、供給信頼度に影響を与える月への変更は不可とする。	11月第3週～12月第1週 (3週間)	11月第4週～12月第1週 (2週間)	▲1週間
STEP3	原則、調整不調となっている電源が時期の変更を可能とする。ただし、供給信頼度に影響を与える月への変更は不可とする。	12月第2週～12月第4週 (3週間)	12月第2週～12月第3週 (2週間)	▲1週間
STEP4	供給信頼度に影響がある場合のみ個別調整	12月第5週 (1週間)	12月第4週～12月第5週 (2週間)	+1週間

(1) 調整期間スケジュール、公表スケジュール変更

- 昨年度の実施状況を踏まえ、供給信頼度の確保状況に関する資料公表の頻度を、毎営業日から週2回に変更した。

3. 2023年度の進め方について

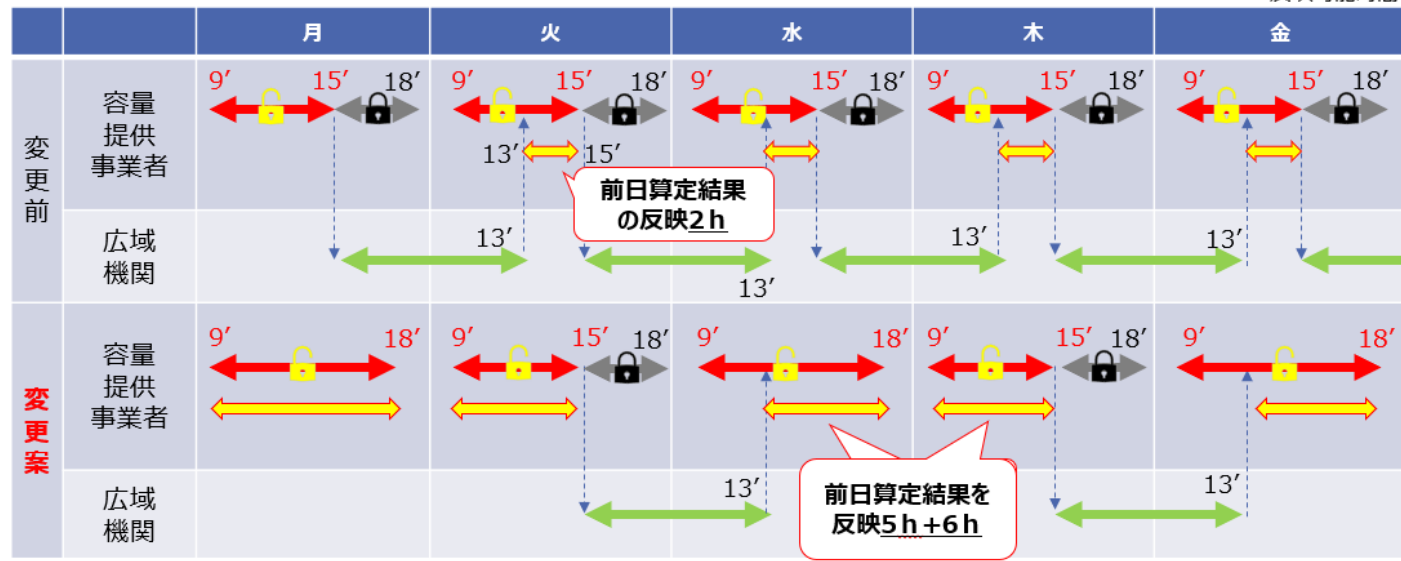
10

③供給信頼度の情報提供のタイミング、システムの利用時間の確保

- 「システム利用時間の延長」や、「日々の供給信頼度公表（13時頃）以降の利用時間の確保」など、システム利用のご意見を踏まえつつ、**供給信頼度の算定の情報提供のタイミングや、システム利用が可能な時間帯について変更**する運用の検討を行っており、今後説明会を予定している。
- 具体的には、**情報提供を行うタイミングを週2回（火・木）**にすることで、他の曜日のシステム利用が可能な時間帯について延長を図ることを予定している。

第47回容量市場の在り方等に関する検討会資料より

<イメージ（月～金が平日の場合）>



(2) 調整不調電源の判断基準統一

- 判断基準の分かりやすさの観点から、調整不調電源の判断基準を全STEP共通で「供給信頼度 (EUE) 評価」とした。

第47回容量市場
の在り方等に関する
検討会資料より

3. 2023年度の進め方について

7

②調整不調電源の判断基準について

- 昨年度は、**ステップ1**では調整対象電源が多いため、容量提供事業者が調整実施量を判断しやすいことを考慮し、各月の調達量から必要供給力を指し引いた「**作業可能量**」を**調整不調電源の判断基準**として設定していた。
- 今回、「調整不調電源の判断基準のステップ毎の統一化」など、運用業務のわかりやすさのご意見も踏まえつつ、事業者の実務において判断のしやすさの観点から、全ステップ共通で「**供給信頼度 (EUE) 評価**」を**調整不調電源の判断基準**とする形で意見募集を行っており、今後説明会も予定している。
- なお、調整実施量を判断しやすいように、**ステップ1**の「**作業可能量**」は、**参考情報として情報提供**を継続することも検討している。

	調整不調電源の判断基準	
	2022年度	意見募集中の案
STEP1	作業可能量	供給信頼度 (EUE)
STEP2以降	供給信頼度 (EUE)	供給信頼度 (EUE)

(3) 支援ツールの提供

- 容量提供事業者の容量停止計画作成を支援するために、「容量停止計画作成支援ツール」を容量提供事業者へ提供した。

3. 2023年度の進め方について

11

④ 支援ツールの提供 (容量停止計画作成の支援ツール)

- 「容量停止計画登録時のCSVファイルの作成や確認、提出の支援」など、事業者の運用業務の支援に関するご意見も踏まえつつ、2023年度の容量停止計画の調整業務に向けて、各事業者による**容量停止計画の作成を支援するツールの提供**を検討している。

第47回容量市場の在り方等に関する検討会資料より

<支援ツールのイメージ>

- 諸元情報、作業計画情報等を入力し、提出用の容量停止計画 CSVファイルを作成する機能をイメージ
- Microsoft Excelをベースとしたツールの提供として検討中

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
	事業者コード	電源等識別番号	枝番	広域受付番号	電源等差替ID	差替元電源等識別番号	作業開始年月日	作業開始時分	作業終了年月日	作業終了時分
1	1234	1234567890	1	1234567	1234567890	1234567890	2023/04/01	00:00	2024/03/01	10:00
2	1234	1234567890	2	1234567	1234567890	1234567890	2023/04/02	01:00	2024/03/02	11:00
3	1234	1234567890	3	1234567	1234567890	1234567890	2023/04/03	02:00	2024/03/03	12:00
4	1234	1234567890	4	1234567	1234567890	1234567890	2023/04/04	03:00	2024/03/04	13:00
5	1234	1234567890	5	1234567	1234567890	1234567890	2023/04/05	04:00	2024/03/05	14:00
6	1234	1234567890	6	1234567	1234567890	1234567890	2023/04/06	05:00	2024/03/06	15:00

参考. 容量停止計画の調整業務の概要

調整業務の内容について

- 停止計画の時期の調整にあたり、**広域機関より日々の供給信頼度の確保状況等の情報提供**※1を行った。
- 公表された情報をもとに、容量提供事業者は**容量停止計画と対象ブロック**※2の**必要な供給力の充足状況を確認**しながら、**停止時期の変更などの調整業務**※3を実施した。

※1 広域機関HPにおいて、「供給信頼度評価算定結果」を毎営業日の更新で提供

※2 今回のブロックは、ブロック1（九州以外のエリア）、ブロック2（九州エリア）で設定

※3 調整業務の実施結果にもとづき、容量確保契約金額の減額を算定

<イメージ>

(調整前)

(調整後)

